北海道
東川町
－写真の町－
写真文化首都

ひがしかわ 議会だより

せんとぴゅあドライブインシアター

第２回定例会・第３・４・５回臨時会を開催……２～６
ここが聞きたい！一般質問に５議員が登壇……７～11
発議・意見書……12～13
議案審査結果……14～15
議会日誌……16

No.186
令和２年８月１日発行
発行：東川町議会
編集：議会報編集特別委員会
〒071-1492 北海道上川郡東川町東町１丁目
☎0166-82-2111

第２回 定例会を開催

●第２回定例会を、令和２年６月18日に開催しました。
●５名の議員が、一般質問をしました。
●令和２年度の一般会計・１特別会計の補正予算案・各種条例案・人事案件・報告などについて審議し、原案可決または同意済・報告済としました。
●東川町議会基本条例を制定しました。
●５件の意見書を、可決しました。

第２回定例会

一般会計補正 第４号

歳入歳出それぞれを１億３００万円増額し、総額は１１２億２９５万円で、主なものは次の通りです。

歳出

①循環型東川応援推進事業（９７５万円）

「スノーボードキッズ育成プロジェクト」１名と「人生の学校」事業の展開を図る２名の地域おこし協力隊の報償費と事業費で、国の特別交付税が措置されます。

②マイナンバー関連事業（４９０万円）

デジタル手続法の改正に対応する戸籍附票システムの改修費を増額し、財源は全額国費です。

③生活飲用水管理事業（５４０万円）

34区と東雲地区の飲用水供給施設の利用戸数の変更に伴う増額です。

④強い農業・担い手づくり総合支援事業（５２６万円）

収益力強化を図る農業用機械や施設の導入の支援事業で、農業者２件４台分の機械整備の融資に対する補助で、道費補助金で措置されます。

⑤小学校維持事業（３５１４万円）

ＧＩＧＡスクール構想により、児童に一人一台のパソコン端末と、就学援助が必要な児童へのモバイルルーターを整備する保守点検及び備品購入費です。

Q（鈴木哉美議員）
モバイルルーターの配布者数と毎月の使用料負担は。

A（学校教育課長）
小中合わせて１４０名が対象で、通信費は国の補正予算を受けた後に予算組みします。

歳入

前年度会計が５月末の出納整理期間終了により、繰越額は１億６５２４万円となりました。

当初予算で計上している繰越金は１億円で６５２４万円が留保される額となり、この内４５２３万円を今回の補正予算に充当します。

町立診療所特別会計補正 第１号

清掃業務１名を委託するため予算の組替えが生じましたが、歳入歳出予算の総額は増減なく、総額４億３５８０万円です。

条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症のまん延防止措置が納税者に及ぼす影響を緩和するため、条例の一部を改正します。

①入湯税の税率改正
旭岳温泉地区から、入湯税を財源にした経済対策の要請があり、日帰り１００円・泊まり１５０円のところ、令和３年１月から令和７年12月末まで日帰り１５０円・泊まり２５０円に変更します。
②徴収の猶予制度を導入
③条件付きで固定資産税の軽減

その他の改正

④未婚のひとり親に対する措置および寡婦（寡夫）控除の見直し
⑤所有者不明土地等に係る固定資産税の見直し
⑥軽量な葉巻たばこの課税方式の見直し
⑦家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例
⑧特定保育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例
⑨放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例

辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

令和６年までの辺地区域の事業名と事業費を計画書にまとめました。

Q（杉本岳大議員）
計画の中にある高齢者施設とは。

A（長原副町長）
共生暮らしのエリアのことで、辺地債を有

利に活用するため多めに4億円で計上しています。

農業委員の任命

12名の方を委員に任命しました。

河治　均 氏	馬場　伸二 氏
青木　哲也 氏	浅沼　浩一 氏
吉田久美子 氏	篠原　猛志 氏
山田　貞治 氏	中西　信幸 氏
梶畑　直敏 氏	松倉　龍秀 氏
津谷　俊弘 氏	行天　英雄 氏

第3回臨時会

（4月28日）

一般会計補正 第2号

歳入歳出それぞれを9億2278万円増額し、総額は108億6178万円で、主なものは次の通りです。

歳出

①（第3弾）新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業

（2450万円）

新型コロナ感染症拡大で影響を受け、金融機関などから融資を受けた中小企業者に対する信用保証料（計1500万円分）及び利子（計900万円分）補給の追加です。

②新型コロナウイルス感染症特別定額給付金事業

（8億4685万円）

4月27日に住民台帳に記録されている8303人に10万円を給付します。

Q（藤倉智恵子議員）

緊急個人融資の対象者人数と予算の想定は。

A（企画総務課長）

早期に受給したい方の人数は把握できませんが、金融機関2行に対し手数料50万円ずつを予算計上しています。

③新型コロナウイルス感染症子育て世帯臨時特別給付金（1180万円）

児童手当を受給する700世帯、1120人に1万円を給付します。

④萬二橋長寿命化修繕工事

（2732万円）

Q（鶴間松彦議員）

集中豪雨による萬二橋と付近の冠水の抜本解決には、上流のサルン倉沼川の改良も必要では。

A（長原副町長）

道に改修を申し出ているのですが、まずは本体の倉沼川優先ということで、目途がついておりません。

公共下水道事業特別会計補正 第1号

歳入歳出それぞれを650万円増額し、総額は2億1240万円で、主なものは次の通りです。

歳出

・西部処理区施設整備事業（▲250万円）

・旭岳温泉処理区施設整備事業（900万円）

請負契約

・文化ギャラリー増築・模様替工事第1・2工区請負契約

（1工区　3億2758万円）

（2工区　2億4860万円）

・勇駒別橋架替工事請負契約（9020万円）

東川町文化ギャラリー　外観パース

第4回臨時会

（5月26日）

一般会計補正 第3号

歳入歳出それぞれを2億3816万円増額し、総額は110億9994万円で、主なものは次の通りです。

歳出

（第4弾）新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業

（総額2億3816万円）

Ⅰ「感染拡大の防止」

①次亜塩素酸水の供給体制の構築

（1000万円）

Q（鈴木哉美議員）
次亜塩素酸水の原料と委託費は。

A（企画総務課長）
東川の地下水で問題なく生成します。
委託費300万円でJAひがしかわに生成を委託し、公共施設20台分の設置を検討しています。

②クラスター防止のため学生寮に個室確保と土日祝日の食事提供の経費

（1900万円）

Q（山家祥幸議員）
クラスター防止対策の中身は。

A（市川副町長）
学生寮10室を6ケ月隔離部屋として確保します。

Ⅱ「雇用の維持と事業の継続」

①相談・申請支援・情報提供窓口の開設

（100万円）

Q（鶴間松彦議員）
相談窓口は商工会か。

A（産業振興課長）
専門知識のある人を3ヶ月商工会に雇用してもらいます。

②大学生等に対する臨時奨学金の給付

（1260万円）

Q（藤倉智恵子議員）
大学生等就学環境対策事業費に該当する学生数は。

A（学校教育課長）
学生105名分です。

Q（山家祥幸議員）
留学生にも大学生等就学環境維持奨学金を。

A（市川副町長）
一人10万円の特別定額給付金が支給されるほか、パクパクチケットなど町民と同じ支援があり十分と考えます。

③建設事業者の雇用対策として旧文化交流館改修

（1700万円）

④感染防止型安心して暮らせるエリア整備検討事業

（500万円）

Q（正満正義議員）
感染防止型安心して暮らせるエリアとは。

A（東川スタイル課長）
共生暮らしのエリアのことで、図面作成などの経費500万円です。

Q（杉本岳大議員）
共生暮らしのエリアは新築でなく、既存施設の活用で十分では。

A（長原副町長）
基本設計を整えた上で、町民や議会の意見を頂き進めます。

⑤企業融資に対する保証料、利子補給支援事業

（600万円）

Ⅲ「経済活動の回復」

①地場産業回復チャレンジ事業

（1億円）

Q（藤倉智恵子議員）
地場産業回復チャレンジ事業の該当数は。

A（産業振興課長）
国立公園内11社と市街地の中小企業110社程度の見込みです。

②観光地イメージアッププロモーション事業

（800万円）

Q（鶴間松彦議員）
観光地プロモーション事業の委託先は。

A（産業振興課長）
観光協会に委託します。

Ⅳ「強靭な経済構造の構築」

①学ぶ環境を構築する児童生徒用パソコン教室端末・学校公務用端末等の整備

（3156万円）

②家具クラフトや農産物を紹介・販売する拠点を整備する事業

（1300万円）

Q（安原芳博議員）
パソコン端末の配布はいつからか。

A（学校教育課長）
年内には配置を完了させる予定です。

Q（鶴間松彦議員）
家具クラフト・農産物紹介販売拠点とは。
A（東川スタイル課長）
旭川駅前のヨシノリコーヒー、旭川空港のお土産店、町が取得したＺＥＮに設けます。

③出前イーツの期間延長（５００万円）

Q（鶴間松彦議員）
しごとコンビニと高齢者事業団の棲み分けは。
A（産業振興課長）
高齢者事業団が行っている事業には、しごとコンビニが参入しないという前提です。

④地域情報を発信する町のホームページのリニューアル（５００万円）
⑤地域の交通課題の解消とコミュニティの推進事業（５００万円）

Q（藤倉智恵子議員）
地域コミュニティカーの購入費は。
A（企画総務課長）
第一地区に車１台３５０万円を導入します。
Q（安原芳博議員）
地域コミュニティカーの運用範囲は。
A（長原副町長）
まず手を挙げた第一地区から始めますが、他の自治振興会でも検討します。
Q（鶴間松彦議員）
産業構造の変化を見越した手立てが必要では。
A（町長）
大都市の密を避けて適当な疎のある我が町が果たす役割が重要になってくる。

歳入

①新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（８０２７万円）
②「写真の町」ひがしかわ株主基金繰入金（１億５１８８万円）
③財政調整基金繰入金（６００万円）

Q（飯塚達央議員）
新コロナ経済対策で１億６４００万円の株主基金を切り崩しますが、今後の見通しは。
A（東川スタイル課長）
令和２年度も昨年同様５億円の寄付を見込んでおり、年度末の基金残高は２億円の見通しです。

請負契約

酒造施設建設工事（３億４５４０万円）

Q（鶴間松彦議員）
①水質はどうですか。
②プロポーザル書に記載のあった協力者の方々の関わり方は。
A（都市建設課長）
①40ｍ掘り、全く問題なく飲用できます。
A（産業振興課長）
②出資者で、負担金は既に入金しています。
Q（杉本岳大議員）
観光施設として工場見学は出来ますか。
A（産業振興課長）
菌の厳密な管理の観点から窓越しの見学になります。
Q（山家祥幸議員）
三千櫻酒造のこれまでの年間売り上げと生産量は。
A（産業振興課長）
一升瓶で１万５０００本、３５００万円程の売り上げですが、東川町に移設初年度は２万５０００本を予定し、株主の返礼品やお土産品としての利用も含め、売り上げ増が見込まれます。

酒造施設基礎工事現場

第5回臨時会

（7月10日）

一般会計補正 第5号

歳入歳出それぞれを1億4449万円増額し、総額は113億4744万円で、主なものは次の通りです。

歳出

（第5弾）新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業

①妊産婦への生活応援と感染予防対策（1250万円）

Q（鶴間松彦議員）
対象者は自ら申請を行うのですか。

A（保健福祉主幹）
現在妊娠中の方は課で把握できていますが、これからの方は母子手帳と合わせて手続きして頂きます。

②重症化予防として65歳以上と18歳未満の方に無償のインフルエンザ予防接種と、65歳以上の方への無償の肺炎球菌ワクチンの予防接種（1121万円）

③感染拡大防止のため、せんとぴゅあに検温システムと図書消毒器の導入（400万円）

④飲食店のPR写真と動画の配信で交流人口の拡大を図る制作費（450万円）

⑤交流人口拡大を図る町の案内人とカメラマン同行の体験型ツアーの実施（400万円）

Q（正満正義議員）
町外から来る参加者の新型コロナ感染チェックはどう行いますか。

A（税務定住課長）
検温、マスク、手指の消毒、手洗い、換気をこまめに行い安心して受入れできるよう努めます。

Q（杉本岳大議員）
成果測定は。

A（税務定住課長）
今回参加される23組の方にはアンケートを実施し、完全な移住で無くてもリモートワークの2拠点移住の可能性について調べ、新たな形態の移住政策に結びつけていきます。

⑥IT機器を活用した授業に向けた大型モニターやプロジェクターなどの備品購入費（2149万円）

⑦GIGAスクール構想に基づくタブレットペンや学習ソフトなどの購入費（1244万円）

Q（飯塚達央議員）
いつ始まりますか。

A（学校教育課長）
タブレットと大型モニターを連動させた授業を年内に始めます。

⑧オンライン家庭学習環境のための通信費補助（512万円）

⑨飲食小売店での消費拡大を図るHUCカードを使った支援を8月31日まで延長（2000万円）

Q（薦田敏次議員）
スタートはいつか。

A（産業振興課長）
7月13日からです。

⑩宿泊割引券の発行延長。（1500万円）

東川町宿泊ご優待券

歳入

国庫補助金

・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（2億2290万円）

・「写真の町」ひがしかわ株主基金繰入金（▲8945万円）

第4弾までの緊急経済対策事業の財源の一部として1億6438万円を繰入する予定だったものを、国からの臨時交付金が追加交付されることになり減額。

町立診療所特別会計 補正 第2号

歳入歳出それぞれを484万円増額し、総額は4億4064万円で、主なものは次の通りです。

歳出

①新型コロナ感染症拡大防止のための院外検査室の設置（300万円）

Q（安原芳博議員）
院外検査室はどのようなものか。

A（診療所事務長）
約2坪のプレハブを敷地内に設置します。

Q（鈴木哉美議員）
受付や会計も院外検査室で行えますか。

A（診療所事務長）
その都度、担当者が出向きます。

一般質問 ここが聞きたい

（５議員が登壇）

問 新型コロナ対策を
答 活用状況を検証

能登　暢吉

質問

①感染拡大により落ち込んだ町内経済を、第５弾として町民全体で支えることが重要です。

町民の皆さんが利用しやすい飲食店や商店など全般で利用できる、クーポン券・飲食チケットのようなものを設けて町民全員で応援できる仕組みが必要では。

②町では既にしごとコンビニにおいて、手作りマスク９３５０枚が作られており、最近では手軽に入手できマスク不足は解消されています。

国で全家庭に配布した、いわゆるアベノマスクなど、使用しないマスクを役場や各コミセンなどに回収ボックスを設置して、必要とされる施設などで使用して頂くことが良いと思います。

③各自治振興会では、年内の事業中止や縮小するなど、新型コロナの影響が出ています。

今後においても「３密」を重視することで、事業に支障がでる事態になった場合の交付金の扱いはどうなるか。

町長

①第５弾の対策で町内消費喚起を行うとすれば、従来の対策の中から選択継続するなど、更に純増を考えています。

今まで展開してきた対策の活用状況などを検証し、期限の延長や重点化すべきものなどを整理します。

②各家庭において不要となったマスクがある場合には、東川町社会福祉協議会において、高齢者施設などへの寄贈を目的に、寄付を呼び掛けています。

③参加者の状況により感染リスクを回避できない場合は、地域性を活かした新たな取組みが展開できるよう創意工夫し、各自治振興会と情報共有を図りながら、交付金を返還することなく活動を推進していけるよう支援します。

再質問

①これまでの対策でどれくらいの利用者と効果があったのかは分かりませんが、飲食店など大変厳しい状況に置かれています。

町民の皆さん全員で応援できる対策としてクーポン券など、全町民に渡すことで町全体で消費され公平感も生まれると考えています。

②不要となったマスクを社会福祉協議会の、一カ所だけでなく、町民の皆さんが行きやすい、せんとぴゅあなどの公共施設、市街地区外では、各コミセンなどに回収ボックスを設置して、寄付を呼び掛けていただけないか。

町長

①クーポン券、商品券を配って経済対策を行っている自治体もあることは認識をしています。

町にはＨＵＣカードという便利な地域通貨に匹敵するようなものがありますので、改めてクーポン券を出すことでなく、東川の特性を活かした消費純増対策を選択して力を入れていく必要があると考えています。

②町の公共施設のような所に回収ボックスを置くことは、問題はありません。

多くの人が集まる場所に置くよう検討を進めます。

国から支給されたマスク

問 コロナウイルス対策の執行状況と今後は

答 執行状況は60%で6月末に検討

薦田　敏次

（一問一答方式）

質問

①コロナウイルス対策の第1弾～4弾まで手を打っていますが、現在の執行状況と、大部分が6月30日で終了ですが、予算額まで延長か、それとも30日で打ち切るのか、伺います。

②どうみん割りの話が、道新に詳細が載っていましたが、8月末まで町で行う予定を他の時期に持っていくということでよろしいですか。

③国の2次補正の予算は、事業者の家賃補助が盛り込まれる予定となっていますが、それに対して、町として上乗せする考え方はありますか。

④大学生などの奨学金は、4月から4年制大学などは、初年度は50万で、2年度以降は、1万円と4万円の補助となっています。

対策で、大学生1人に対して月1万円で12万円を補助することになっていますが、今年度新しくなっているために、2年、3年、4年生の方に周知が徹底されていません。

状況を教えていただきたい。

町長

①町単独事業は、3億6196万円で、執行状況は2億3079万円で、56・3%ですが、今は60%を超えていると思います。

当面は6月30日までとし、一部は継続を考えています。

②宿泊チケットは大変好評で、現在町民が500人、町外が3500人を超えています。

予算オーバーしていますが、観光振興、商工振興含めて端境期のようなところに何か宿泊も兼ねた経済対策を講ずることを検討しています。

③結論から申し上げて、家賃補助に上乗せする考えは今持っていません。

④12万円の上乗せは、あくまでも経済対策の一つとして今年度に限り支援をするものです。

教育長

④大学生等就学環境維持で、対策の12万円には、5月に交付した件数が40件・今月末に交付する予定の件数が63件で、現在103件となっています。

今後の申請は、随時、期限を区切りながら受け付けをして、町長部局と協議をしながら、他の財源を振り替えるなど工夫して実施していきたいと思います。

問 避難所運営マニュアルは

答 全員協議会で素案を提出

質問

避難所運営マニュアルは、作成されていなかったと思いますが作成されたのか。

道の避難所マニュアルが改正され、感染対策を盛り込むようにというような話が来ていると思いますが作成されているのか。

町長

今年の2月に素案はほぼ完成していました。

道が新型コロナ関係の感染症をマニュアルに入れたため、それを反映させ、策定が終わっています。

議会が終わった後、避難所運営マニュアル案などを議員の皆さんにお配りして中身を見ていただこうと思っています。

住民の皆さんと地域自治振興会の皆さんとも協議をしながら、避難が円滑に進むように取り進めていきます。

避難所マニュアル素案

一般質問

問 基準日以降の新生児に給付金を
答 町独自の対策を検討

鶴間　松彦

（一問一答方式）

質問　特別定額給付金10万円と子供一人当たり1万円支給された臨時特別給付金が、支給されない新生児や世帯があります。

他の町村にならって、新たに補正された第二次コロナ交付金を使って町独自で給付できませんか。

町長　町独自で新たに支給基準を設けるより、国が定めた基準に沿って支給することが最も公平であると思います。

質問　過去にも国の決めた基準に従うのではなく、町独自で考え行ったものもあるはずです。

新生児に支給したとしても金額的にはそれほどではないのでは。

町長　特別定額給付金は完結したので、今後は、町独自で対策を考え行っていきます。

問 30人学級の復活を
答 学年途中の変更は困難

質問　30人学級に編成できなかった中学1・2学年を3密を回避するために教員を増員し30人学級に戻せませんか。

国では、就学援助を受けている準要保護世帯に休校中の給食に対する昼食代を現金給付することを認めていますが、町では昼食代を給付しますか。

教育長　学年途中でクラスを増やすことは、教員数を増やさなければならず現実的に難しいと思います。

昼食代の給付は、夏休みなどに授業を行い、給食を行う予定があるので、給食日数は例年と変わらないと考えます。

町では休校中の給食を補うことができるよう独自に食事券を支給しています。

問 補聴器購入助成の拡充を
答 検討する

質問　町独自の補聴器購入助成はできませんか。

町長　国の現行の制度から拡充した助成を検討します。

問 天人閣の現状は
答 早期の事業再開を要望中

質問　天人峡の天人閣の現在の状況と今後、町はどのように対応していきますか。

ジオパーク構想はどうなっていますか。

町長　天人閣は、施設も老朽化して防犯上、景観上好ましくないと認識しています。

所有者に対して文書で早期の事業再開を求めるとともに、環境省とも相談を進めています。

ジオパーク構想は一市七町で検討していましたが、構想に賛同しかねる自治体もあり、話は進んでいません。

問 新型コロナウイルス感染症の健康対策は

答 通年型温水プールは次期計画で

藤倉 智恵子

質問

新型コロナウイルス感染症の影響により、外出する機会が減り、運動不足や食生活の乱れ、生活習慣病の悪化などの健康二次被害が懸念されます。

感染症の予防は運動でウイルスを寄せ付けないように免疫力を高めることが重要です。

体のケア・リハビリができる通年型の温水プールや屋内体育施設を希望します。

町長

温水プールや屋内体育施設は過去において他の議員からも質問があります。

感染症を踏まえ、改めて健康維持・保健対策の必要性について充分認識しています。

通年型のプールは町づくりプライムタウン計画に明記はなく、次期計画で創意工夫をしながら実現に向けて進める事が良いと考えています。

再質問

健康対策で、東川にもリハビリ機能・回復訓練など、障害のある方が使用する施設をと思っています。

プライムタウン計画には明記されてないプールは優先順位が低く先送りされていますが、再度考えてみてはいかがですか。

町長

高齢者の皆様方を含め屋内での、訓練する施設が確かにないのです。

町づくり計画の中から優先して整備していきますので、今の計画が終わったあとに加えることが良いのではと考えています。

B＆G新トレーニングマシン

問 改正森林法の運用は

答 「美しい東川の風景を守り育てる条例」で制定

質問

森林法が平成30年に改正されました。

海外資本に水を使われないように町が山林を買ったケースもあります。

町独自の運用規定を作ってはいかがですか。

町長

町は森林資源と環境保全のため、平成27年12月に190ha・平成30年12月に183haを町有林として購入しました。

「美しい東川の風景を守り育てる条例」で適正に運営をしています。

問 種子保存の考えは

答 道の条例に基づいて供給

質問

海外では大手種苗会社で発売された、F1品種等に「縞葉枯れ病」が発生した事実があります。

上川振興局、他町村と連携し種子保存の考えはありませんか。

町長

種子を民間にゆだねた場合、価格高騰や遺伝子組み換え企業が日本の種子市場を支配する懸念があり、「北海道主要農作物等の生産に関する条例」が制定されました。

条例では種子の安定的な供給を図ることが目的とされており、本町も道の条例に基づいています。

問 コロナ休業中の非常勤職員休業手当は

答 本人と相談しながら柔軟に対応

鈴木　哉美

質問

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校休校や公共施設の休館が実施されたことにより、非常勤職員の方々の勤務時間が減少し、収入に影響があったようです。

①勤務日数が減少した非常勤職員の人数と、休業が無かった場合の報酬などの見込額は。

②雇用維持のためどのような取組みをしましたか。

町長

①学習支援員13名261万円、学校司書5名60万円、給食調理員19名32万円、せんとぴゅあⅡのライブラリーアシスタント・夜間スタッフ計11名120万円、町立日本語学校講師21名181万円で合計69名944万円です。

②対象者と十分に話し合い、国からの技術的助言と本人の意向を踏まえ、他の業務や勤務時間への振り替えなどを行い、代休や有給休暇の取得も勧めました。

減収補填は、6月以降の勤務で勤務日数や時間を増やすなど、対象者と更に協議し対応します。

再質問

①報酬などの見込額は一部支払った額も含みますか。

②年度別にそれぞれ支払われなかった金額は。

③昨年度分の予算執行残額はどうなりますか。

④労働基準法第26条の休業手当としての支給は今後も対応しないのですか。

町長

①人により50％から90％支払った額も含みます。

②旧年度分125万円、新年度分194万円、計318万円です。

③翌年度に繰り越します。

④休業原因が26条に該当すれば当然補償しますが、対象となる方と相談しながら柔軟に対応することが大切と考えます。

再々質問

非常勤職員の方が雇用の不安定さを案じることのないよう、模範的な雇用環境を目指しませんか。

せんとぴゅあⅡほんの森の夜間開館

町長

特に不満の声は聞いておらず、本人の同意を得て柔軟な対応をして来ており、今後も同様に進めていきます。

問 町外専門学校生などに支援拡充を

答 必要な支援は準備 奨学助成金は検討

質問

緊急経済対策の一つである「大学生等就学環境維持奨学金助成事業」は、企業版ふるさと納税を活用した「大学進学奨学助成金」が基本にあり、それに年12万円を上乗せ給付するものですが、町外の専門学校や大学院への進学者は対象外となっています。

①「大学進学奨学助成金」の対象に加えませんか。

②新型コロナウイルス対策として別途助成ができませんか。

教育長

①寄附者である株式会社ホクリクの意向を踏まえつつ、来年度に向けて検討します。

②町外の専門学校や各種学校を含めた学生を対象とすることで準備を進めています。

大学院生については、社会人院生など様々な形態があるため、奨学助成金と併せて検討します。

発議案第1号 東川町議会基本条例を制定しました

平成31年4月に設置された東川町議会改革等特別委員会は、様々な議会改革の項目を検討している最中です。

議会基本条例は、過去に設置された特別委員会から引き続き検討項目とし、先進地視察や条例内容についての検討を重ねてきました。

8か月間にわたり、計11回の委員会で、合意形成を図るための意見交換やパブリックコメントの機会を設けたうえで条例案の作成に取り組んできました。

本条例案は、当議会が町民に開かれた議会として活動理念を明らかにし、自ら継続的に議会改革に取り組むことにより、町民の福祉の増進及び公平かつ公正な町政の発展を図ることを決意して、議会の最高規範として制定するものです。

この条例は、第7章までの構成となっており、第1章は総則で目的、基本理念を定めるものです。

第2章は、議会の運営原則、議員活動の原則を定めています。

第3章は、町民との情報共有・町民参加の促進の規定で、町民と議会との関係を定めています。

第4章は議案及び政策の審議等について定めています。

町長等と議会及び議員の関係・町長による政策等の形成過程の説明・予算及び決算における政策説明資料の要求・議決事項の追加について定めています。

第5章は議会機能の充実強化の規定です。

議長及び副議長志願者の所信表明・委員会及び全員協議会の活動・議会事務局の体制整備・議員研修の充実強化・議会広報及び公聴の充実・災害等発生時の対応について定めています。

第6章は議員の定数・報酬・政治倫理について定めています。

第7章は最高規範性及び見直し手続き、条例の施行に関して必要な事項は、別に定めるとしています。

附則

令和2年7月1日より施行することとします。

意見書を可決し、議長名で、衆議院議員・参議院議員・内閣総理大臣及び各大臣・内閣官房長官・北海道知事・道議会議長・道教育長へそれぞれに送付しました。

「公立学校教員に一年単位の変形労働時間制を適用しないこと」を求める意見書

1. 一年単位の変形労働時間制を公立学校教員に適用する条例制定をしないこと。
2. 教員が子どもとしっかりと向き合い、授業の準備をする時間の確保など、「子どもの学習権の保障」という観点から教員の労働環境の抜本的な改善を行うこと。

地方財政の充実・強化を求める意見書

1. 増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、柔軟に対応し得る地方一般財源総額の確保をはかること。
2. 急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための社会保障関連予算の確保および地方財政措置を的確に行うこと。
3. 会計年度任用職員制度における当該職員の処遇改善にむけて、本来の法の主旨に基づく所要額の調査を行い、確実にその財源を確保すること。
4. 地方交付税における

意見書

トップランナー方式は、地域の実情を無視し、本来交付税に求められる財源保障機能を損なう算定方式であることから、廃止にむけ検討すること。

5．「まち・ひと・しごと創生事業費」として確保されている一兆円について、引き続き同規模の財源を確保すること。

6．森林環境贈与税の贈与基準は地方団体と協議を行い、林業需要の高い自治体への贈与額を増大させるよう見直すこと。

7．偏在性の小さい所得税・消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、抜本的な改善を行うこと。

8．地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかり、小規模自治体に配慮した段階補正の強化など対策を講じること。

9．地方交付税の法定率を引き上げ、臨時財政対策債に頼らない地方財政を確立すること。

新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書

1．第二次補正では、医療・生活・事業継続支援を抜本的に強化すること。

2．医療破壊を止めるため、大量検査、医療機関に対する財政支援の拡大に転換すること。

3．負担が増す介護・福祉の現場への抜本支援を講じること。

4．コロナから暮らしと営業を守るため、財政支援の拡大に転換すること。

5．学生の学ぶ権利を守るために緊急の支援を行うこと。

「補聴器購入制度」の公費助成の拡充を求める意見書

国では、高度難聴者（70デシベル以上・身体障害者手帳6級以上）に対してのみ補助を行っていますが、高額な補聴器の購入が困難で不自由な生活を強いられている方も少なくありません。

1．補聴器購入に対して、公費助成制度の拡充を求めます。

新たな基本計画における農村振興の強化振興を求める意見書

1．農村地域で安心して暮らせる生活環境の整備に向けて、都市部と同等の医療・福祉・雇用・情報通達などについての十分な政策支援を講じること。

2．食料自給率目標（カロリーベース45パーセント）が確実に達成できるよう、農畜産物の市場開放に歯止めをかけるとともに、国内農業の生産並びに農村振興の強化など具体的な施策を講じること。

3．次世代を担う新規就業者や後継者などの育成・確保対策を強化するとともに、農村人口の維持や移住・定住促進に向けた環境整備のための手厚い財政支援を講じること。

●●●●●●●●議会を傍聴しませんか●●●●●●●●

次回は9月8日～11日の予定です。

町議会では、町民の暮らしに関する重要な事柄が審議されています。
9月は令和元年度一般会計、特別会計決算の大切な議会です。

議場は、役場3階、傍聴席は30席あります。団体の傍聴は、
資料の準備もありますので、事前にお知らせください。

議会事務局
82－2111

（令和２年６月18日）

議　決　の　内　容	結　果
・103,001千円を増額し、総額11,202,948千円とする ・増減なしとし、総額435,800千円とする	原案可決 〃
・地方自治法の改正による条項ずれに伴う改正 ・まち・ひと・しごと創生基金の新設等による改正 ・地方税法等の改正及び新型コロナウイルス感染症の影響の緩和を図るため地方税に係る特例措置を講ずる地方税法等の改正に伴う改正 ・必要な措置を講じている場合、連携施設確保は不要とする改正及び保護者の疾患や障害等により養育を受けることが困難な乳幼児に対する居宅訪問型保育の実施を可能とする省令改正が行われたことに伴う改正 ・　〃 ・放課後児童支援員認定資格研修の受講機会の拡大を図るため、中核市の長も実施できる省令改正が行われたことに伴う改正 ・町民に開かれた議会として活動理念を明らかにし、自ら継続的に議会改革に取り組むことにより、町民の福祉の増進及び公平かつ公正な町政の発展を図ることを決意し、議会の最高規範として制定	原案可決 〃 〃 〃 〃 〃 〃
・12名の任命について（河治　均氏、馬場伸二氏、青木哲也氏、浅沼浩一氏、吉田久美子氏、篠原猛志氏、山田貞治氏、中西信幸氏、梶畑直敏氏、松倉龍秀氏、津谷俊弘氏、行天英雄氏）	原案同意
・辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について ・令和元年度 東川町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について ・令和元事業年度 東川町土地開発公社の決算及び令和２事業年度の事業計画について ・令和元事業年度 株式会社東川振興公社の決算及び令和２事業年度の事業計画について	原案可決 報告済 〃 〃
・安原芳博議員より、意見書について趣旨説明 ・　〃 ・　〃 ・　〃 ・薦田敏次議員より、意見書について趣旨説明	原案可決 〃 〃 〃 〃
・総務文教・産業建設・議会運営の各委員長からの申し出	原案可決

（令和２年４月 28 日）

議　決　の　内　容	結　果
・922,787千円を増額し、総額10,861,787千円とする ・6,500千円を増額し、総額212,400千円とする	原案可決 〃
・東川町文化ギャラリー増築・模様替工事第１工区請負契約について（契約金額327,580千円） ・東川町文化ギャラリー増築・模様替工事第２工区請負契約について（契約金額248,600千円） ・勇駒別橋架替工事請負契約について（契約金額90,200千円）	原案可決 〃 〃

（令和２年５月 26 日）

議　決　の　内　容	結　果
・238,160千円を増額し、総額11,099,947千円とする	原案可決
・酒造施設建設工事請負契約について（契約金額345,400千円）	原案可決

（令和２年７月 10 日）

議　決　の　内　容	結　果
・144,495千円を増額し、総額11,347,443千円とする ・4,840千円を増額し、総額440,640千円とする	原案可決

区　分	開　催　日	議　件　名
第８回全員協議会	令和２年６月18日	1）　全世代共生暮らしのエリアについて 2）　キトウシ高原ホテルについて 3）　町有地公募型プロポーザルの結果について 4）　町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例について 5）　その他
第９回全員協議会	令和２年６月25日	1）　町立日本語学校について 2）　東川振興公社決算・予算について 3）　全世代共生暮らしのエリアについて 4）　新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金第二次分について 5）　その他
第10回全員協議会	令和２年６月30日	1）　町立日本語学校について 2）　新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金第二次分について 3）　その他
第11回全員協議会	令和２年７月10日	1）　全世代共生暮らしのエリアについて 2）　その他

第２回定例会の議案審議結果

区　分	議　件　名
補正予算	・令和２年度　東川町一般会計補正予算（第４号）について ・令和２年度　国民健康保険東川町立診療所特別会計補正予算（第１号）について
条　例	・東川町監査委員条例の一部を改正する条例の制定について ・東川町基金条例の一部を改正する条例の制定について ・東川町税条例等の一部を改正する条例の制定について ・東川町家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・東川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・東川町放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・東川町議会基本条例の制定について
人事案件	・東川町農業委員会委員の任命について
その他案件	・辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について ・令和元年度 東川町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について ・令和元事業年度 東川町土地開発公社の決算及び令和２事業年度の事業計画について ・令和元事業年度 株式会社東川振興公社の決算及び令和２事業年度の事業計画について
意見書	・「公立学校教員に１年単位の変形労働時間制を適用しないこと」を求める意見書 ・地方財政の充実・強化を求める意見書 ・新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書 ・「補聴器購入制度」の公費助成の拡充を求める意見書 ・新たな基本計画における農村振興の強化振興を求める意見書
その他	・閉会中の所管事務等の調査の申し出

第３回臨時会の議案審議結果

区　分	議　件　名
補正予算	・令和２年度東川町一般会計補正予算（第２号）について ・令和２年度東川町公共下水道事業特別会計補正予算（第１号）について
その他	・東川町文化ギャラリー増築・模様替工事第１工区請負契約について ・東川町文化ギャラリー増築・模様替工事第２工区請負契約について ・勇駒別橋架替工事請負契約について

第４回臨時会の議案審議結果

区　分	議　件　名
補正予算	・令和２年度東川町一般会計補正予算（第３号）について
その他	・酒造施設建設工事請負契約について

第５回臨時会の議案審議結果

区　分	議　件　名
補正予算	・令和２年度東川町一般会計補正予算（第５号）について ・令和２年度国民健康保険東川町立診療所特別会計補正予算（第２号）について

全員協議会の開催状況

区　分	開　催　日	議　件　名
第４回全員協議会	令和２年４月28日	1）共生暮らしのエリア整備事業についての意見について
第５回全員協議会	令和２年５月７日	1）　共生暮らしのエリア整備事業について
第６回全員協議会	令和２年５月14日	1）　第４弾新型コロナウイルス経済対策事業等について 2）　特別定額給付金について 3）　マスク・次亜塩素酸水の無償配布について 4）　公共施設の取り扱いについて 5）　その他
第７回全員協議会	令和２年５月26日	1）　入湯税税率の見直しについて 2）　写真の町関連事業について 3）　高校生国際交流写真フェスティバルの2020年度開催方法について 4）　参議院議員中山恭子氏からのウズベキスタン細密画等の預託について 5）　農業委員会委員の改選について 6）　特別定額給付金受付状況について 7）　北海道からの休業要請解除に伴う公共施設の取り扱いについて 8）　町有地公募型プロポーザルの結果について 9）　その他

議会日誌

５月

７日　第５回全員協議会
14日　第６回全員協議会
21日　例月公金出納検査（東川町・大雪地区広域連合）
26日　東川町議会第４回臨時会
　　第７回全員協議会
29日　第15回東川町議会改革等特別委員会

フォトストリート屋外展示

６月

４日　定例会前各常任委員会
　　東川高等学校教育振興協議会総会
11日　議会運営委員会
17日　例月公金出納検査（東川町・大雪地区広域連合）
18日　東川町議会第２回定例会
　　第８回全員協議会
20日　第62回旭岳山のまつり・安全祈願祭
25日　第16回東川町議会改革等特別委員会
　　第９回全員協議会
30日　第10回全員協議会

シニアセンター前のラベンダー

７月

９日　議会報編集特別委員会（１回目）
10日　東川町議会第５回臨時会
　　第11回全員協議会
16日　議会報編集特別委員会（２回目）
20日　例月公金出納検査（東川町・大雪地区広域連合）
22日　議会報編集特別委員会（３回目）

せんとぴゅあの噴水